

2022年4月14日
九州電力株式会社

玄海原子力発電所3号機 第16回定期検査の状況をお知らせします
— 漏えい燃料集合体の詳細調査結果 —

玄海原子力発電所3号機は、通常運転中の2021年11月30日に1次冷却材中の放射性よう素濃度に若干の上昇が認められたことから、2022年1月21日から実施中の第16回定期検査において、燃料集合体193体（ウラン燃料173体、MOX燃料20体）を1体ずつ確認する調査を行いました。

調査の結果、燃料集合体1体（ウラン燃料）に漏えいが認められたことから、当該燃料集合体について、詳細調査を行うこととしました。

（2022年3月7日お知らせ済み）

当該燃料集合体1体について、超音波による調査を実施したところ、264本の燃料棒のうち1本に漏えいが認められました。

このため、当該燃料棒についてファイバースコープによる外観調査等を行ったところ、損傷や著しい腐食、異物の混入などの異常は認められませんでした。

このことから、今回の1次冷却材中の放射性よう素濃度上昇の原因は、燃料棒に偶発的に発生したピンホールからの微少な漏えいであると推定しました。

当該燃料集合体は、使用済燃料プールに保管し、今後は再使用しないこととします。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありませんでした。

当社は、引き続き、安全確保を最優先に、定期検査や各種工事を丁寧に進め、今後の安全・安定運転に万全を期してまいります。

以 上